

束

四年

画数 7
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆

申束
ソク
たば

成り立ち



たき木の意味の「木」に、なわでたばねることを表した「口」をくわえて作った字です。

「たき木の「たば」を表した字です。

今では、「木のたば」にかぎらず、「花束」「札束」など、何の束の意味にも使われています。

「しぼる」「しばって動けないようにする」意味にも使われます。**【例束縛、拘束】**

また、人が「一つにまとまる」という意味にも使われます。**【例結束】**

使い方

▽おかあさんに連れられて、音楽会に行きました。演奏が終わると、拍手が起こり、きれいな若い女の人が花束を演奏家に渡しました。美しい演奏に、美しい花束はふさわしいものでした。

▽ぼくたち三人は、とても仲良しです。いつも結束して事にあたります。去年、同じクラスになった時、何となく気が合って、親友になろうと約束したのです。

熟語例

▽花束（花を束ねたもの）

▽札束（お札を束ねたもの）

▽束縛（行動の自由をしばって制限すること。「意味もななく束縛されるのは、やりきれない」などというふうにつかいます。）

▽拘束（行動の自由をしばること。「規則に拘束されて、思い通りにできない」などというふうにつかいます。）

▽結束（同じ目的を持った者同士が、一つにまとまること。）

▽二束三文（数が多くても価値が低いこと。「二束でわずかに三文」の意味）

使い方

▽日本では、車は左側通行、人は右側通行です。外国では反対側を通行する所もあります。いずれにせよ、きまりを守らないと、事故が起きるので、注意しましょう。

熟語例

▽側近（貴人や権力者のそばに仕えている人。「首相が側近にもらしたところによると……」などというふうにつかいます。）

▽君側（君主のおそば。「君側の忠臣」といえば「君主のおそばに仕えている忠義な家来」という意味です。）

▽側面（正面や背面以外の、左右のわきの面。また、そこから、いろいろな性質のうちの一つの面のことをいいます。「明治の社会をある側面から描いた小説」などというふうにつかいます。）

▽反対側（反対の方の側。「駅に向かって歩いていたら、反対側からやって来た車とぶつかりそうになった」などというふうにつかいます。）

▽縁側（家のざしきのへりについた細長い板じきのでっぱり。「ねこが縁側にねそべっている」など）

側

四年

画数 11
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈ ㇉ ㇊

伊伊側側
ソク
かわ

成り立ち



「物事のよりどころ（手本）」という意味の「側」（**年 73**）と、「人」の形を表した「イ」とを組み合わせて作った字です。

「人はいつも自分の「わき」に手本をおいて生活している」ところから、「わき（そば）」という意味を表した字です。**【例側近、君側、側面】**

また、「物の「へり」」の意味に使われます。この場合は、多く「かわ」という訓で読みます。**【例反対側、片側、両側、縁側、左側（「サソク」とも読みます）】**